

## 今後の子育て支援に関する検討について

< 11月4日開催「岡山市総合政策審議会保健・福祉部会」の内容 >

### (1) 議題

良質で持続的な保育サービスが提供できる体制づくり(公立保育園と私立保育園の役割)

### (2) 資料

別添のとおり

### (3) 主な意見

保育の質の向上

- ・ 公立が先駆的に障害児保育に取り組んできたのはここ数年のことで、以前は一部の私立のみが受け入れていた。公立よりも私立のほうが柔軟な対応ができる。
- ・ 障害児保育は公私立の区別なく行うべき。
- ・ 障害児保育は手厚い人の配置が必要であり、それに対する補助金があれば、民間でできないことはない。
- ・ 特別保育事業に公立はもっと取り組んでいくべきだ。
- ・ 公立はベテラン保育士が多いということだが、長く経験すれば良いサービスが提供できるというエビデンスは何もない。長年の経験の中でやり方が身にしみついており、なかなか新しいやり方を受け入れてくれない。
- ・ ベテラン保育士は、経験を活かしながらやって欲しい。
- ・ 保育の質が公立も私立も一緒であれば、財源をどこに持っていくのが一番良いか考えてもいいのではないかと。

地域の子育て支援

- ・ 地域に開かれた保育園、保護者への適切な対応や子育て相談は、本来公的な機関に期待したいが、そのためには柔軟な対応ができて先駆的に創造的な仕事ができる組織でなければいけない。

- ・ 保育園又は幼稚園が地域の子育て支援という役割を果たして欲しい。保護者が気楽に集まって触れ合うことができるようにすべき。
- ・ 本当に困っている人に対してはこちらから出かけていかなければならない。公立保育園にはベテランの保育士がいるので、私立で関わっていない部分に対して対応して欲しい。
- ・ 待っているだけでは相談に人はやって来ない。あるいは、昼間には相談できない人もいるので、夜や早朝でも対応できるようにすべきだ。私立の方がやりやすいのではないか。

#### 公立保育園と私立保育園の連携

- ・ 保育の質の向上のために、幼稚園教諭と公私立の保育士と一緒に研修することを進めていく必要がある。
- ・ 保育の質の向上には、環境整備が必要。幼稚園施設の活用を考えるべきだ。

#### 公立保育園のあり方

- ・ 今は障害児が増えてきたし、虐待という問題も上がってきた。そういうものに対応するには、どうしても公立が私立のできないところをやっていただきたい。
- ・ 民間は職員の意識改革のため、ISOとしてよくわかる形で目標設定をしている。公立の場合、評価システムがないとなかなかサービスの質を上げていくことは難しい。
- ・ 保育、教育の現場に競争原理を持ち込むことには、慎重であるべき。今、公立保育園の民営化への道筋をつけてしまうのは性急過ぎる。
- ・ 保育園運営の効率性は無視できないため、民営化ではなく、保育士を嘱託の形で雇用するとか、学校給食のように給食の部分のみ外部委託するなどの方法を考えるべき。
- ・ 民間の施設は赤字になっては大変なので必死に取り組んでいるが、公立は、公務員という組織の中ではそういったインセンティブが働かないのではないか。
- ・ 公立保育園の民営化の取り組みは、むしろ遅すぎる。これから道筋をつけて、どういう手順で民間に移していくのか考えるべきである。